

2006(平成18年)

10.1

広報

# はむら



富士見公園が今年も熱い!!  
10月8日(日)羽村市市民体育祭

## CONTENTS

■平成17年度決算報告・水道事業決算報告	1
■指定管理者を募集します	6
■平成18年10月	
障害者自立支援法本格施行	7
■お知らせ	9
■子どものページ	21
■テレビはむら	22
■健康ガイド	23
■10月の相談日ほか	24

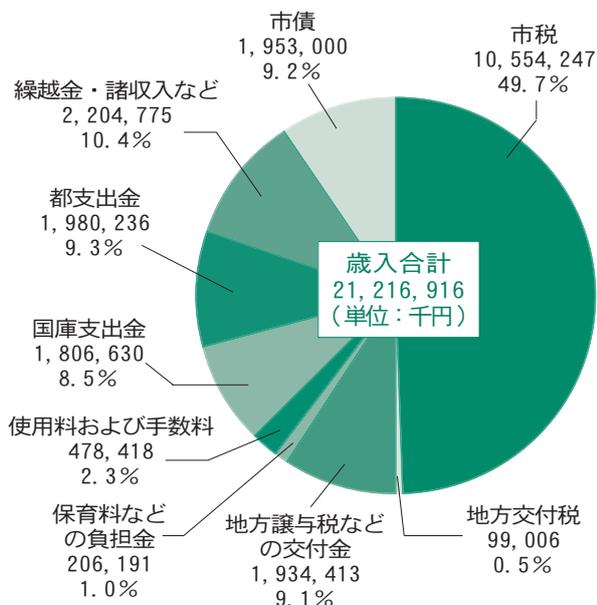
10月8日(日)、富士見公園で第59回羽村市市民体育祭を行います(雨天の場合9日(月)に延期)。第15回羽村市健康フェアも同時開催します。スポーツの秋。皆さんの参加が体育祭・健康フェアを盛り上げます。ぜひ参加してください。

## 歳入

歳入総額は、212億1692万円で、前年度に比べて1732万円(0.1%)減少しましたが、前年度には住民税等減税補てん償※の借換え(8億円)があつたため、これを除いた実質的な比較では、7億8268万円(3.8%)の増加となりました。

主要財源である市税は微増となりましたが、三位一体の改革における国庫補助負担金の一般財源化に伴う所得譲与税を含む地方譲与税や都支出金などが増加しました。

市では、依然として厳しい財政状況にあるため、市税等滞納整理特別対策などにより引き続き税収の確保に努めています。

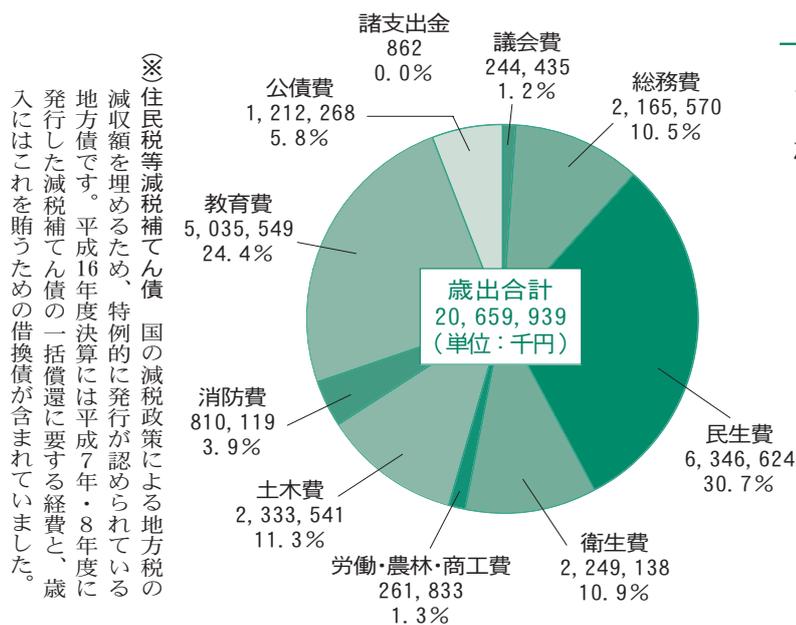


# 平成 17 年度 決算報告

## 歳出

歳出総額は、206億5994万円、前年度に比べて2億476万円(1.0%)減少しましたが、前年度には住民税等減税補てん償※の借換え(8億円)があつたため、これを除いた実質的な比較では、5億9524万円(3.0%)の増加となりました。

生涯学習センターゆとろぎの建設経費などにより教育費が増加し、また、児童手当、児童育成手当などの受給対象者の増加から民生費も増加しました。



※住民税等減税補てん償 国の減税政策による地方税の減収額を埋めるため、特例的に発行が認められている地方債です。平成16年度決算には平成7年・8年度に発行した減税補てん償の一括償還に要する経費と、歳入にはこれを賄うための借換債が含まれていました。

### 衛生費

- \*市民の健康づくりのために「健康はむら 21」の推進
- \*二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)の設置費助成
- \*ごみ分別徹底ちらしの作成 など

### 民生費

- \*西学童クラブの新設
- \*休日・年末保育、病後児保育の実施、認証保育所の運営支援など、保育環境を整備
- \*「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定 など

### 総務費

- \*市民生活安全パトロールの実施
- \*コミュニティバスはむらんの運行
- \*国勢調査の実施 など

総合健康診断



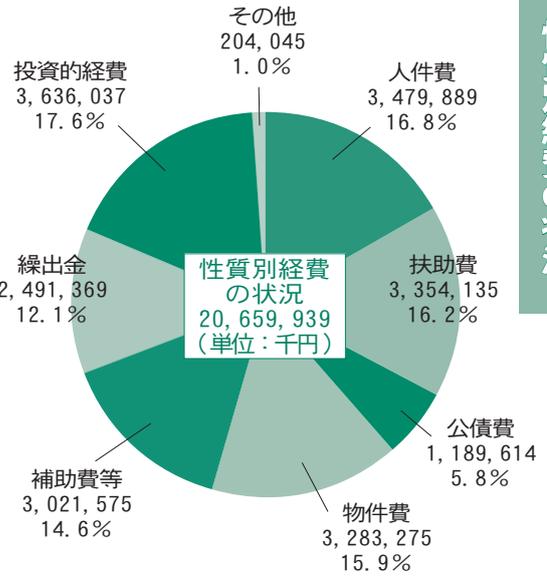
西学童クラブ



コミュニティバスはむらん



## 性質別経費の状況



### 人件費

職員の給与や市議会議員、各委員会の委員に支給される報酬などです。歳出全体に占める割合は、多摩地域の中では低い数値となっています。高齢者・児童・心身障害者などを援助するための経費です。少子高齢化が進むにつれ、年々増加傾向にあります。

### 公債費

大規模な建設事業などに借り入れた市債(借金)の償還金です。歳出に占める割合が大きくなり、計画的な借り入れを行っています。賃金、旅費、役務費、委託料などの消費的経費で、公共施設の維持管理費などが含まれます。

### 物件費

各種団体に対する助成金や西多摩衛生組合などの一部事務組合への負担金などです。

### 緑出金

国民健康保険事業会計や下水道事業会計などへの緑出金です。

### 投資的経費

公共施設の建設などにかかる経費です。生涯学習センターゆとろぎ、西学童クラブ建設工事などを実施しました。

平成17年度の一般会計決算は、主要財源である市税が、前年度との比較でほぼ横ばいとなる厳しい状況でしたが、行財政改革などにより生み出した財源や、基金、市債の活用を図ることで、予算に定めた事業を順調に執行し、所期の目的を達成することができました。今後も、限られた財源を有効に活用し、市民サービスの向上と予算の適正な執行に努めていきます。

問合せ 財政課財政担当

民生費	114,707 円	高齢者、障害のある方、保育などの福祉の充実に
教育費	91,011 円	学校教育や文化・スポーツの振興に
土木費	42,176 円	道路、公園や市街地の整備に
衛生費	40,650 円	市民の健康を守ることやごみ処理などに
総務費	39,140 円	コミュニティの振興や行政運営に
公債費	21,910 円	市が借り入れた市債などの返済に
消防費	14,642 円	火災や地震などの災害に備えて
労働・農林・商工費	4,732 円	産業振興や消費者行政に
議会費	4,418 円	議会運営に
諸支出金	16 円	土地の取得などに

一人あたりに換算してみると・・・  
一般会計歳出決算額206億5994万円を、市の人口5万5329人(平成18年3月末現在、住民基本台帳人口)で割ると、市民一人あたり、37万3402円になります。

### 教育費

- \*生涯学習センターゆとろぎの建設およびオープニング記念イベントの実施
- \*小学校全校への学習サポーターの配置
- \*栄小学校校舎耐震補強工事、羽村第一・第二中学校アスベスト除去等工事、各小・中学校の施設整備 など

### 土木費

- \*羽村駅西口土地区画整理事業、都市計画道路3・4・16号線立体交差事業の推進
- \*ゆとろぎ通りバリアフリー化工事
- \*捨て看板の撤去 など

### 労働・農林・商工費

- \*市内製造業の営業力強化支援制度の創設、中小企業振興資金利子補給制度の充実
- \*商業実態調査の実施
- \*無公害農業推進事業への助成 など

生涯学習センターゆとろぎ



ゆとろぎ通り



農産物直売所



## 基金・市債・一時借入金

### ▼ 基金 ▲

将来のまちづくりに備えた積立金で、家庭でいう「貯金」にあたります。

平成17年度末の一般会計の基金残高は、54億6075万円で、前年度と比べて14億2001万円減少しました。これは、生涯学習センターゆとろぎの建設にかかる経費などを特定目的基金<sup>※</sup>から取り崩し、活用を図ったためです。

今後は、都市計画道路3・4・16号線立体交差事業、羽村駅西口土地区画整理事業などの大型プロジェクトを計画していますので、財政需要の増加が見込まれます。このため、市では、長期的な計画に基づき、基金を年度間の財源調整や計画事業の実現に向け活用していきます。

※ 特定目的基金：施設の整備や福祉のまちづくり、教育振興など、特定の目的のための基金

### ▼ 市債 ▲

家庭でいう「借金（ローン）」にあたるものです。

単年度予算では賄いきれない大規模な建設事業などを行う場合に、国や金融機関などから借入れを行い、長期間にわたり返済する制度で、将来、これらの施設を利用する人にも公平に負担（後年度負担）していただく目的も含まれています。

平成17年度末の一般会計の市債残高は、125億9875万円で、前年度に比べて9億9670万円増加しています。

大型プロジェクトの推進に伴い、今後も市債の増加が見込まれますが、財政状況に合わせ借入れを行い、計画的な財政運営に努めます。

### ▼ 一時借入金 ▲

平成17年度は一時借入を行いませんでした。

### ◎ 市民一人あたりの額は

基金と市債の額を平成18年3月末日の人口で割ると  
 ・基金 9万8696円  
 ・市債 22万7706円  
 となります。

基金残高と市債残高の推移



## 特別会計

(単位：千円)

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業会計	4,588,040	4,479,818	108,222
老人保健医療会計	2,996,559	2,953,015	43,544
介護保険事業会計	1,876,886	1,818,708	58,178
羽ヶ上土地区画整理事業会計	16,923	16,923	0
羽村駅西口土地区画整理事業会計	423,507	417,397	6,110
下水道事業会計	2,372,331	2,349,286	23,045

\*各会計とも適切な予算執行により、黒字決算となっています。

\*羽ヶ上土地区画整理事業会計は清算金事務処理期間が終了することに伴い、平成17年度をもって廃止となりました。